

富士見町特産農産物の商品開発・販路開拓について

企業紹介

馨工房(かおるこうぼう)

- 代表者：吉田 馨
- 所在地：富士見町富士見9770-1
- 従業員数：1名
- 事業内容：農産物加工販売、野菜の生産販売
- 連絡先：080-1034-6922

支援を受けて

令和5年に小さな加工場を建て量産体制が整ったので、HACCPやラベル・FCPシート作成や原価計算等の支援をいただきました。SDGs商品のブランド力を強化し、販路拡大に努めていきたいです。



吉田 馨氏

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

[現状]

勤務しながら瓢箪の彫刻品の他、赤紫蘇や規格外の夏秋イチゴ、ブルーベリー等の加工を行なってきた。自費で自宅隣接地に今年加工施設を設立した。売り上げアップのために富士見町特産の商品開発及び販売を、これから行っていく計画。



馨工房のロゴ



瓢箪の彫刻品

[課題]

農産物を商品化までの基本の流れについて：加工所の食品製造業許可や食品表示、HACCP等商品化するまでの過程。また商品の価格設定や販路開拓等いろいろな課題を抱えている。

■実施した支援内容

1 富士見町特産の商品開発について

- ① 農産物の新商品開発のコンセプトシートの説明及び作成支援
- ② SWOT分析の説明及び作成支援

2 富士見町特産の赤いルバーブ等の商品化について

- ① 赤いルバーブ等の商品開発について
- ② 容量及び容器の選定&ラベルのアドバイス
- ③ 各商品の原価計算について
- ④ 栄養成分表と食品表示の作成支援



赤いルバーブ

3 衛生管理等の支援について

- ① 食品製造業許可について
- ② HACCPの説明及び衛生管理計画&記録表の作成支援

4 新商品の販路開拓の支援

- ① 商談会カレンダー及び各商談会の特徴説明
- ② FCP展示会・商談会シートの作成支援
- ③ 商談会の成約率を高める為のアドバイス



赤紫蘇、ブルーベリー等の商品



赤いルバーブのパウダー



赤いルバーブのドレッシング

支援の結果及び今後の展開等

支援の結果：設立された加工所で、富士見町特産の赤いルバーブ等を使ったドレッシング等ができ上がった。更に、にんにくを使用した商品がこれからでき上がる予定である。販路開拓として展示会及び商談会等にも参加して、富士見町以外での長野県内外の飲食店やホテル等で販路先を増やしていきたいと考えている。

支援を実施して

馨工房の支援は5年程前、ブルーベリーや夏秋イチゴの加工を開始する時から携わらせていただいています。何事も真面目に取り組まれていて、瓢箪の彫刻品は素晴らしい作品が多いです。加工所を設立され、今年度からは勤務を辞めて加工一本に絞られるとの事なので、販路拡大ができるように唐澤主任と共に支援をこれからもさせていただきます。



上席専門経営支援員
山中美智子



富士見町商工会
唐澤理恵主任経営支援員